○鵜坂地区タウンミーティング議事録

日　時：令和８年１０月２４日（土）
　　午前１０時から１１時４５分
場　所：鵜坂公民館
出席者：５２人

テーマ１　富山市の公共交通政策について

＜主な説明事項＞

１　公共交通ネットワークとコンパクトなまちづくり

２　高山本線や路線バス等の利用促進・維持に向けた取り組み

【活力都市創造部の説明に対する質問】

・西本郷からバスで富山方面へ行く際、新安田のバス停まで自転車で行きたい時があるのですが、近くに駐輪場がありませんので整備をご検討いただきたいです。

・また、新安田のバス停の位置が信号の近くに移動したため、乗降時に渋滞を引き起こす可能性があります。元の位置に戻していただきたいです。

・高山本線の婦中鵜坂駅について、駐輪場から駅へ向かう右側にある用水路の柵に穴が開いています。周りに草が生えたり、冬場に雪が積もったりすると境目が分からなくなり危険ですので、現地を確認して対策をお願いしたいです。

（交通政策課長）

駐輪場につきましては、サイクル＆バスライド駐輪場として整備を進めておりますが、スペースの確保等の課題もあり、現在、婦中地域では１か所（分田）の設置にとどまっております。今後、用地等の状況が許せば、できる限り検討してまいります。

バス停が信号に近づいた件につきましては、運行事業者である富山地方鉄道に確

認のうえ、対応を検討いたします。

婦中鵜坂駅付近の用水路の状況につきましては、直ちに現地を確認し、対応できることは速やかに対処してまいります。

・運転免許を返納したため公共交通機関を利用していますが、市内のバスは１００円で乗れる一方、婦中地域のコミュニティバスは対象外で２００円かかります。なぜ同じ富山市内なのに運賃に差があるのか説明をお願いします。また、コミュニティバスは両替ができずお釣りも出ないため、小銭がない時に大変困りました。乗客も少なく、使い勝手の改善が必要ではないでしょうか。

（交通政策課長）

コミュニティバスの運賃につきましては、地域で自主的に運行していただいているものや、市が直接運行しているものなど様々な形態がございます。富山市内の路線バスが１００円になるのは、中心市街地へ出かける際にご利用いただける「おでかけ定期券」の制度によるものですが、コミュニティバスは現在この制度の対象外となっており、１乗車２００円をいただいております。現状の制度としてご容赦いただきたく存じますが、いただいたご意見は様々な観点から今後の参考とさせていただきます。

また、料金箱に両替機能がなくお釣りが出ない点につきましては、コミュニティバスでは簡易な料金箱を使用しているため、ご不便をおかけし心苦しく思っております。たまたま小銭の持ち合わせがない場合などには、次回乗車時にお支払いいただくなど柔軟で優しい対応ができるよう、運行事業者とも調整してまいります。

・休日に富山駅周辺のイベントなどへ出かける際、高山本線を利用することがありますが、昼間の時間帯は２時間ほど列車がないことがあります。イベントの開始時間に合わせるためにかなり早く家を出なければならないため、昼間の本数をもう少し増やしていただけないでしょうか。

・コミュニティバスのダイヤについて、速星駅などから発車するバスが高山本線の時刻に合わせて運行されれば、高齢者以外の世代もより利用しやすくなると思いますが、いかがでしょうか。

（交通政策課長）

高山本線の休日の昼間時間帯における増便につきましては、私どもも長年ＪＲ西日本に対して要望を続けているところでございます。２時間も間隔が空いてしまうような時間帯をなくし、より使いやすいものにしていきたいという思いは同じですので、引き続きＪＲ西日本へ働きかけてまいります。

コミュニティバスとＪＲとの接続につきましても、運行を担っていただいている婦中地域の皆様方と、何か改善できる点がないか話し合ってまいります。

（速星地区自治振興会長／婦中地域自治振興会連絡協議会長）

コミュニティバスの運行主体として補足いたします。現在、市の１００％補助を受けて運行しておりますが、車両が２台しかない中で婦中町内全域を回っており、通学や通院のニーズにも対応しながらＪＲとスムーズに接続させることは、現状の台数では非常に困難です。市には再三にわたり車両の増設やデマンド方式への転換などを要望しており、今後もより良い運行形態を検討してまいります。なお、小銭の持ち合わせがない場合は、運転手に伝えて次回乗車時に支払っていただければ結構ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、高山本線の増便については、今後ＪＲ西日本へ要望したいと思っております。

・婦中鵜坂駅が整備されて大変便利になりましたが、駅南側約２００メートルの場所にある踏切の待ち時間が長いのが課題です。富山方面からの下り列車が婦中鵜坂駅に停車する前から踏切が閉まってしまい、乗客が降りて列車が出発するまでずっと閉まったままになります。安全上の規定等があるとは思いますが、駅を出発してから踏切が閉まるような仕組みにできないでしょうか。

（交通政策課長）

ＪＲ西日本から伺っている話では、婦中鵜坂駅は列車が出発する際の信号機が設置されていないタイプの駅となっております。そのため、列車が停車する場合でも通過する場合でも安全に対応できるよう、列車が駅に近づいた段階で踏切が閉まる仕組みになっております。私どももＪＲ西日本に改善を相談したことがございますが、これを改修するとなると数億円規模の費用がかかるとのことです。将来的に信号設備や閉塞区間の切り替え等の機会がある際には、優先して手当てしていただきたいと要望してまいります。

テーマ２　防災・安全で安心なまちづくりについて

＜主な説明事項＞

１　能登半島地震における富山市内の避難場所開設状況について

２　避難所の環境改善について

３　避難場所と避難所の違いについて

４　安全で安心なまちづくりに向けた取り組みについて

【防災危機管理部の説明に対する質問】

・生活道路の法定速度引き下げについてですが、私の住む東本郷の道路では、もともと引かれていた中央線が長年のうちに消えてしまっています。速度標識もないのですが、このような道路の扱いはどうなるのでしょうか。

（防災危機管理部次長[富山県警]）

もともと中央線が引いてある道路で、経年劣化などで薄くなっている場合であっても、基本的には「中央線がある道路」と認識していただきたく、法定速度は６０キロとなります。ただ、線が見えにくくなっている状況であれば、道路管理者に状況を伝え、引き直しを依頼していただくのが確実です。県道であれば県へ、市道で

あれば市役所へ、ぜひご相談ください。

（速星地区自治振興会長／婦中地域自治振興会連絡協議会長）

令和７年度に速星小学校のプール横にマンホールトイレを１０基整備していただきましたが、速星小学校周辺は浸水想定区域となっており、令和５年７月の線状降水帯による大雨の際にも周辺が水没しました。地震の際は有効でも、水害時には水没して使用できなくなる恐れがあります。設置場所を決める際には、事前に地元へ相談していただきたかったですし、今後他地区で整備する際にはそうした点も踏まえて検討していただきたいです。

（防災危機管理部長）

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。今後の整備にあたっての参考とさせていただきます。

・現在、速星小学校にマンホールトイレが整備されていますが、今後、鵜坂小学校へ設置する計画はありますか。大規模な工事が必要になると思いますが、今後の整備予定について教えてください。

（防災危機管理部長）

鵜坂小学校へのマンホールトイレの整備予定につきましては、現在、富山市内を１４ブロックに分け、人口集中地区の人口密度などを考慮した優先順位に基づき、まずは各ブロックに１か所ずつ計画的に整備を進めております。現時点では八尾地域にまだ１か所も設置されていないため、来年度は八尾小学校での整備を予定しております。市内全１４ブロックへの１か所目の整備が一巡した後、二巡目の整備に入る際には、婦中地域では人口密度の高い鵜坂小学校を優先的に検討していきたいと考えております。具体的な時期は現時点では申し上げられませんが、ご理解をお願いいたします。

・鵜坂小学校の避難所開設に関連して、自治振興会でも備蓄水や非常食を少しずつ自前で準備していますが、学校の備蓄倉庫に入ると、市から新しい備蓄品が少しずつ配置されていることに気づきます。配備していただけること自体は大変ありがたいのですが、地区センターに尋ねても把握しておらず、地域との情報連携が不足していると感じます。市の配備計画や何を配置したかといった情報を事前に共有していただければ、地域で重複して購入せずに済みますので、今後は相互に情報提供しながら進めていただきたいです。

（防災危機管理部長）

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。今後の備蓄品の配備や情報共有のあり方について、いただいたご意見を踏まえて検討してまいります。

【その他意見交換】

・本日のテーマである「公共交通の活性化」と「交通安全・防災」は、それぞれ独立した話ではなく、まちづくりそのものとして一体的に繋がっていると感じました。その中でも防災は大きな鍵になると思いますが、これらを包括した全体的なまちづくりのプランはあるのでしょうか。

（市長）

富山市のまちづくりは、「富山市総合計画」および今年度から新しくなった「富山市都市マスタープラン」に基づき、年次計画を立てて推進しております。その中において防災は切り離せない非常に重要な要素であり、交通政策を含め一体的に進めております。具体的には、小学校の配置や交通網、商店街の賑わい、日々の暮らしや環境に至るまで、総合的な計画に基づいており、防災はこれらの礎となっています。国の法令や県の条例などの変化に対応しつつ、毎年の状況にあわせて計画を更新しながら施策を積み上げております。

（速星地区自治振興会長／婦中地域自治振興会連絡協議会長）

・７月に富山県教育委員会から富山西高等学校の閉校に関する発表がありました。自治振興会連絡協議会として１０月初めに知事および県教育長へ要望書を手渡しましたが、先日の有識者会議で県の方針が概ね了承され、このままでは閉校になる見通しです。私たちは単に富山西高等学校を残してほしいと言っているのではなく、婦中・山田地域から県立高校がなくなるのであれば、代わりに何らかの文教施設を持ってきてほしいと要望しています。

一方で、県は呉羽高校を１学年４８０名規模の巨大な学校に再編しようとしており、富山国際大学も呉羽キャンパスへ移転するとなれば、あいの風とやま鉄道はパンク状態になるのではないでしょうか。高山本線にはまだ輸送力の余裕がありますので、こうした交通バランスの観点も含め、富山西高等学校の再編問題について市長の見解をお聞かせください。

（市長）

県立高校の再編は第一義的には富山県および県教育委員会が決定することですので、富山市長として予断をもってお話しすることはできませんが、私の先輩や後輩、同級生にも富山西高等学校の出身者が多くおりますので、市内の高校が一つなくなるというのは個人的にも非常に寂しい思いであります。

この問題については、地域の皆様は「まちづくりや地域の賑わい」の観点から考えられ、県教育委員会は「少子化の中での高校生の教育環境や適正規模」の観点から考えるため、議論が平行線になりやすい面があります。まずは高校生にとってどのような学びの環境が一番良いのかという点に心を寄せる必要があると考えておりますが、県教育委員会の考え方を理解した上で、地域の皆様の思いもしっかりと受け止め、富山市としても県および県教育委員会と協議を進めてまいりたいと考えております。跡地の利活用も含め、将来に向けてどのような可能性があるのか、子育て世代や若い方々、地域を支える皆様と様々な角度から議論していくことが重要

だと考えております。

市では富山地方鉄道への支援を決められましたが、私たち婦中地域の住民にとっては全く利用しない路線であり、恩恵を受けません。なぜそこに多額の支援を行うのか疑問です。市長は婦中町のご出身ですので、もう少し地域のバランスを考えていただきたかったです。

（市長）

鉄道というものは、駅や路線がある場所によって直接恩恵を受ける人が限られる側面があります。婦中地域にお住まいの方々にとっては、鉄道が直接的な恩恵をもたらしていないと感じられるかもしれません。しかし、富山市全体として見た場合、鉄道や主要なバス路線を維持していくことは、どの地域に住んでいても、富山駅周辺や中心市街地へアクセスできる状況を確保するために不可欠です。現在の課題は、いかにして各地域の拠点から駅やバス停へアクセスできるようにするかという点にあり、地域の中を自由に移動できる環境を整えることが重要だと考えています。

考え方の一つとして道路に例えますと、皆様の地域を通る道路にも市の税金が多く投入され、除排雪や維持管理が行われています。それらは他の地域に住んでいる人にとっては恩恵が少ないものですが、市全体の公共財として整備していく必要があります。鉄道は民間事業ですが、社会を支える重要な公共財であるため、国や県、そして市も支援を行っております。とはいえ、直接利用されない地域の方々が不公平感を持たれるお気持ちも重々理解できますので、今後、なぜ支援が必要なのかという丁寧な説明や、どう地域間の不公平感を解消していくかという点に、しっかりと心を寄せて取り組んでまいります。

・高山本線の社会実験やその後の増便運行に対して、富山市が多額の費用を出して支援しているということが、市民にあまり知られていないのは残念です。例えば、増便された列車に「富山市の支援で運行しています」といったヘッドマークを付け

るぐらいの分かりやすいＰＲを行ってもよいのではないでしょうか。

（市長）

貴重なご意見をありがとうございます。市が費用を負担して増便していることや、だからこそ皆様に乗っていただきたいということを、より分かりやすくしっかり宣伝していく必要があると思っております。広報課とも共有し、さらなるＰＲに努めてまいります。

・市の広報紙（広報とやま）について、ページ数が十数ページと非常にボリュームがあるため、３～４ページ程度のものならパラパラと見られますが、どこに何の記事があるのか一目で分かりづらく困っています。表紙の下半分などに「目次」を設けて、見たい記事がパッと見てすぐ分かるような形に工夫していただけないでしょうか。

（広報課長）

ご提案ありがとうございます。ご意見を参考にさせていただき、できる限り見やすく分かりやすい紙面になるよう検討させていただきます。

※発言の一部を整理して掲載しています。（広報課）